

15. 後期近代英語

要点

- () の言語として世界へ
- 理性派による () の確立
- 慣用派による () の編纂

英国（U.K.）の正式名称は？

The United Kingdom of

()

and

()

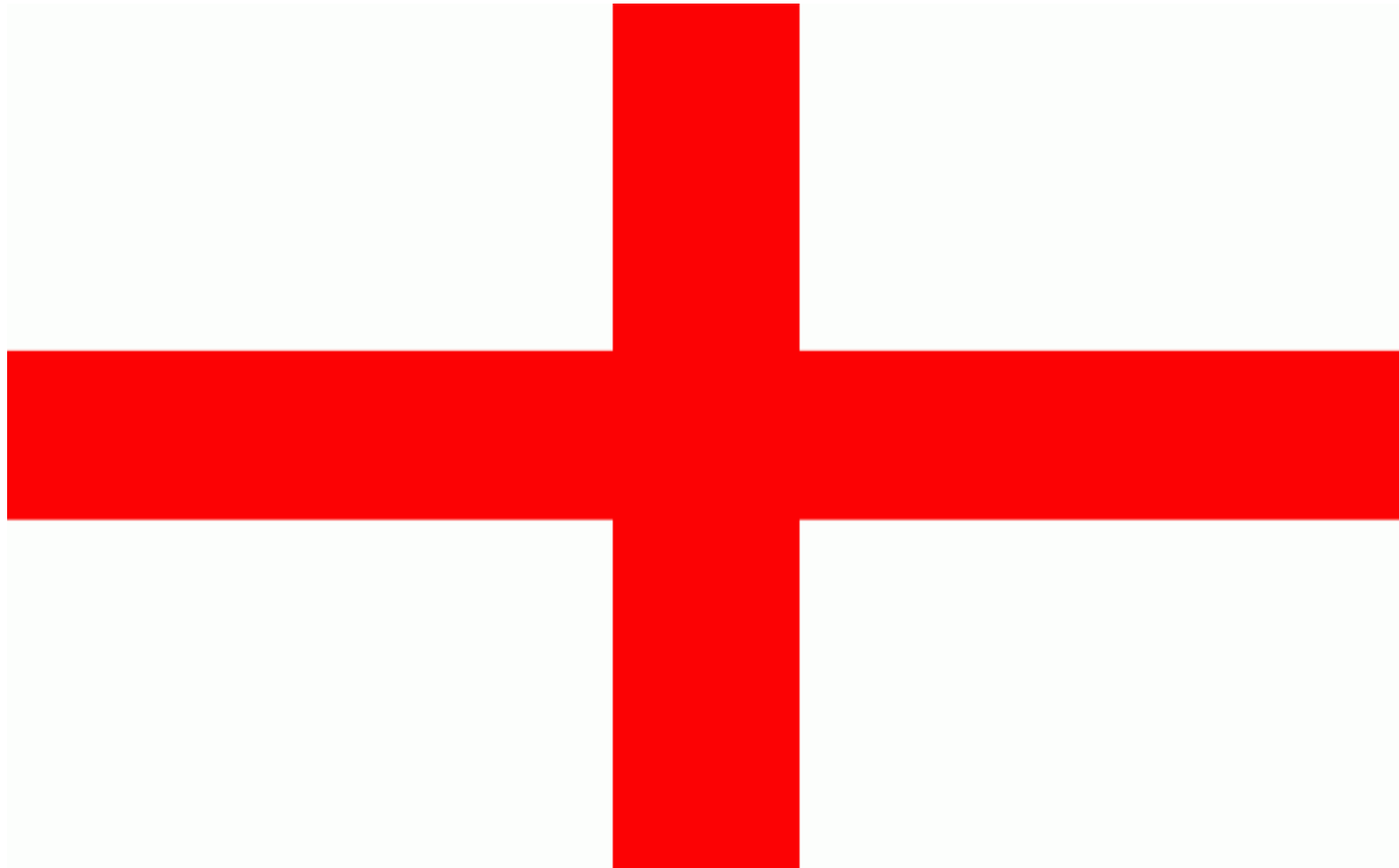
グレート・ブリテン島の三王国は？

- E()
- S()
- W()

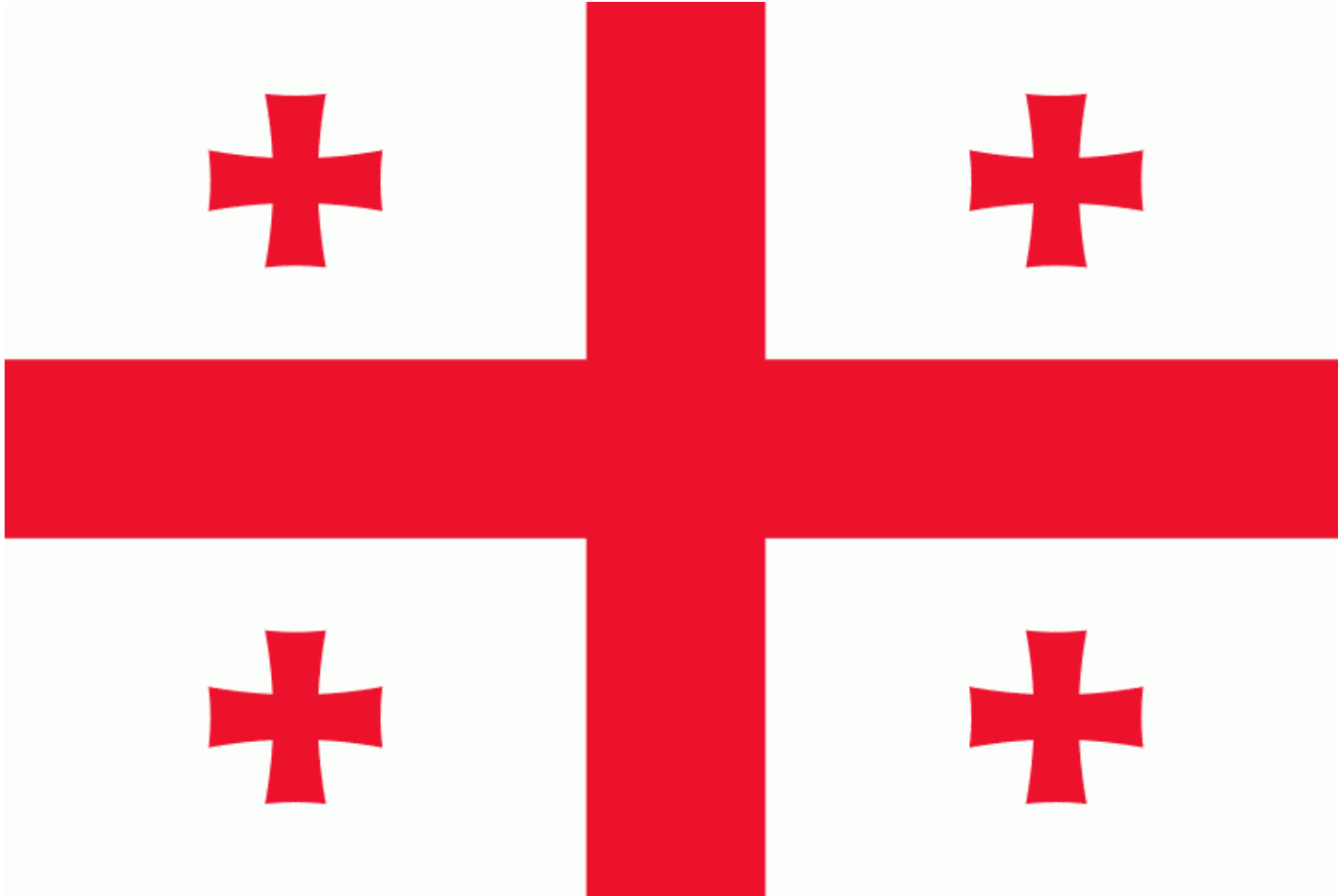
UK map



St George's Cross ()



()'s National Flag



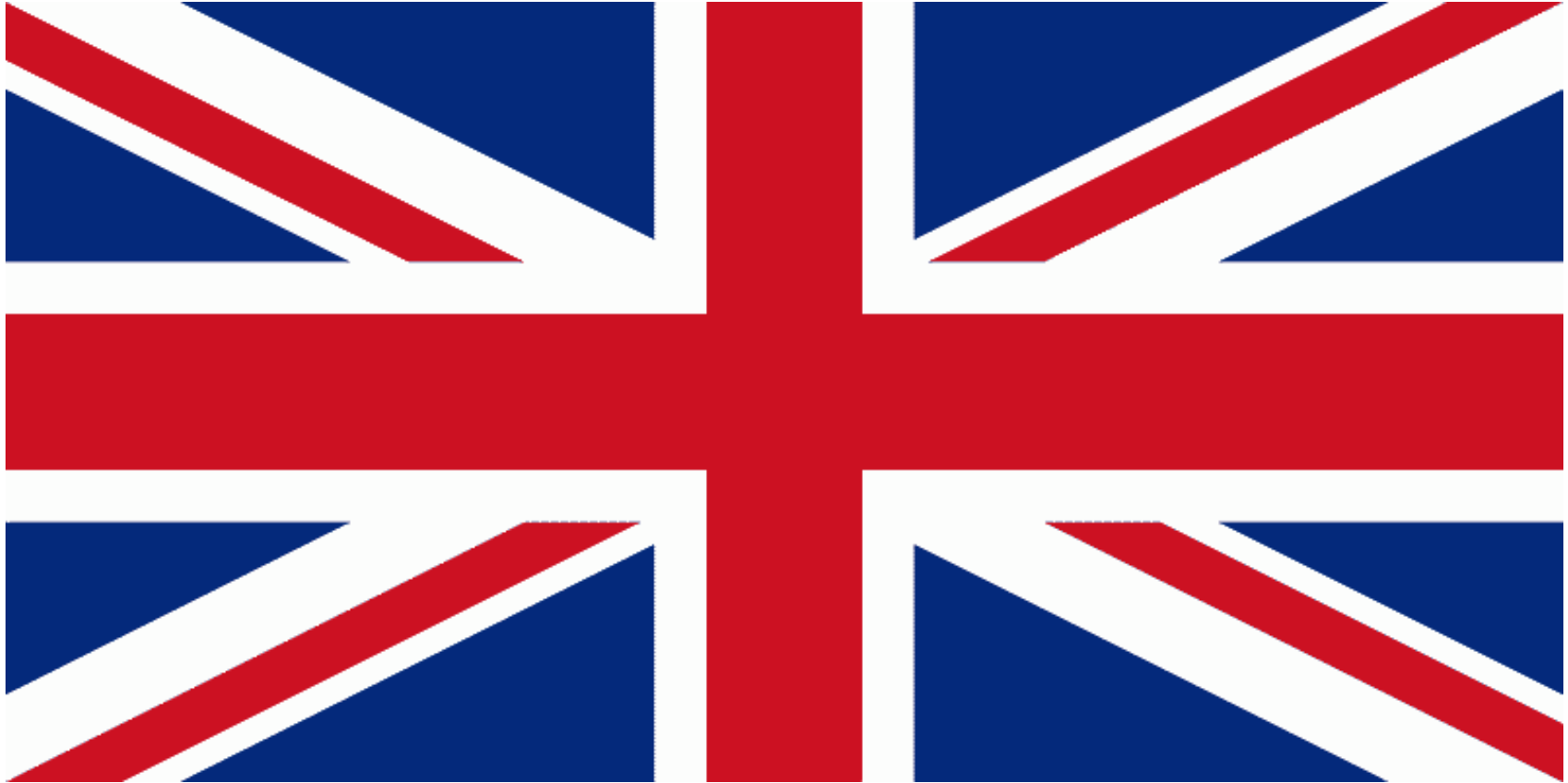
St Andrew's Cross ()



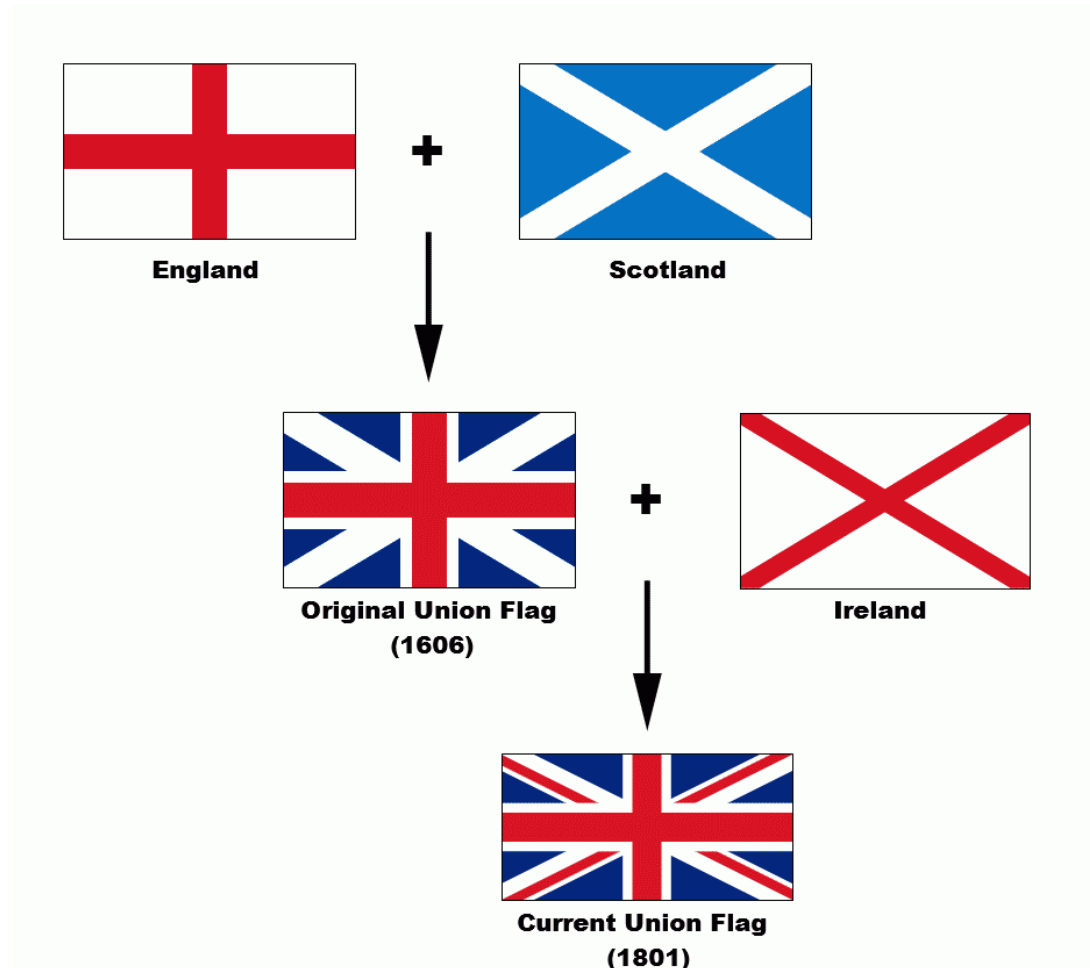
St Patrick's Cross ()



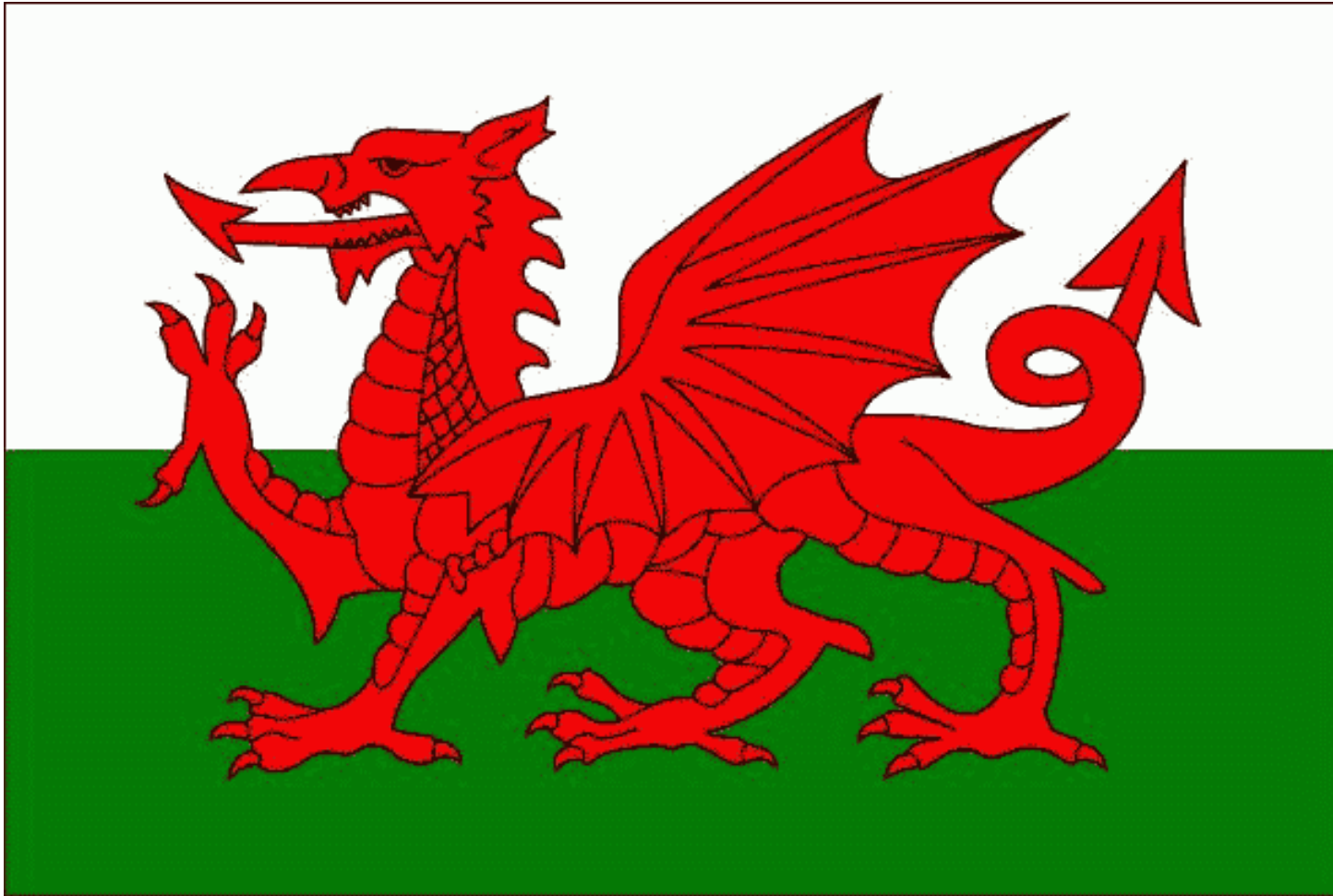
()



Development of U.K. Flag



Why not Red Dragon? ()



18～19世紀の時代背景

- 1707年、()、英国に統合
- 1755年、()出版
- 1760年～、()
- 1763年、フランスより()を
獲得
- 1776年、()
- 1788年、()への植民

- 1837 年 , Queen () の即位
- 1840 年 , () の統治
- 1858 年 , () の統治
- 1858 年 ~ () の編纂

記述と規範 #747

- 記述文法 (() grammar)
- 規範文法 (() grammar)
- 言語において何が正用か , という問題

18 世紀の言語意識

- 理性の時代 ()
- 言語を規制する () 設立の問題
#134
- 理性か慣用かの論争 cf. Jonathan ()
- 文法：1764 年 , () の規範文法
()
- 語彙：1755 年 , ()'s Dictionary

規範文法 ()

拙著より

- 英語を規準化し (), 洗練し (), 固定化したい () という潮流
- Robert () の文法書が一世風靡
- 後の () に多大な影響
- 理性に基づいた文法観

規範文法の例

- 自動詞 *lie* と他動詞 () の区別をつけるべし
- () の所有格として *whose* を用いるべからず
- *it is me* ではなく *it is* () とすべし
- 文末に () を置くべからず

- 二つ以上のものには *between* を , 三つ以上のものには () を使うべし
- *the oldest of the two* ではなく *the () of the two* とすべし
- 二重 () は使うべからず
- *to fully understand* などの () は使うべからず

しかし、() 期で
は・・・(復習)

- All debts are cleared between you and (): (*me*)
- you have seen Cassio and () together: (*her*)
- I feel () much to blame: (*myself*)

辞書の編纂

- 慣用派の Samuel () による *A Dictionary of the English Language* (1755)
- () を固定化するのに貢献
- 後の () の編纂にも多大な影響を

OED の編纂 #304, #644

- ()
- 約 () 万語を納める世界最大の英々辞書
- 1858 年に編纂開始し, 1928 年に完成
- 現在第 3 版が編纂中
- () 原則に基づき, 初出年の情報を含む

近代英語期の借用語 #756

(): *exit, area, focus, extra*

(): *drama, idea, energy, camera*

(): *vase, role, unique, police*

(): *concert, opera, piano, in-
fluenza*

(): *mosquito, parade, guitar,
cigar*

(): *massage, flamingo*

(): *yacht, iceberg, boss*

(): *nickel, waltz, zigzag, kinder-
garten*

(): *troika, balalaika, mammoth*

(): *algebra, assassin, zero*

(): *bungalow, yoga, curry, sham-*

poo

(): *Chimpanzee, zebra*

(): *raccoon, skunk, opossum,*

(): *boomerang, kangaroo*

(): *jasmine, shawl, pyjamas*

(): *chop-suey, tea*

(): *jujitsu, kimono*

現代英語の規範

- () 派と () 派の妥協の産物
- () ではなく、() によって定められた
- よくいえば () 的、わるくいえば () 的な規範
- よくもわるくも、この規範が世界へ

まとめ

- 英語，世界へ拡張し世界から影響を
- 理性と慣用を折衷した（ ）
の確立
- いよいよ，現代英語の時代へ